

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 3月 29日

事業所名 しながくどう宮崎

保護者等数(児童数) 37 回収数 27 割合 73 %

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	24	1	0	2		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	22	0	0	5	・児童に対して先生方が多いので安心して預けられる	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	23	1	0	3		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	25	0	0	2	・いつ行っても綺麗にされている	
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	25	0	0	2		
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	25	0	0	2	・ガイドラインの内容がわからない	
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	26	0	0	1		
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	24	1	0	2	・就学前のプログラムで本人の意識が高まり、すごく良かった	
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	16	2	1	8	・私が知らないだけかもしれない。すみません	併行通園をしている児童の園との交流を予定しています。
保護者への関	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	23	2	0	2		
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	25	0	0	2	・ガイドラインの内容がわからない ・いつも詳しく書かれていてわかりやすく良く見ているのが分かる。家でも取り組む参考になる	
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング*4等)が行われているか	16	4	1	6	・困っていることなど相談させていただき、助けてもらっている ・よく資料なども頂き、勉強になっている ・トレーニングになっているか分からずすみません	来年度、ペアレントトレーニングを保護者会の中で実施を予定しています。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	22	2	1	2	・怪我や児童同士のやり取りなどその日に連絡してほしい ・家と施設との様子に違いがあるため共通理解は難しいものの日頃の様子はメールで詳しく説明されていて写真なども安心できる	保護者との連絡については密に実施できるようにしていく
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	22	0	2	3	・こちらから質問したことは答えてもらえるが、しながくどうからアドバイスしてもらいたい	保護者との関わり方について、研修を実施していきます。

説明等	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	13	4	1	9	・私が参加できないだけかもしれない。すみません	定期的に保護者会を実施していきます
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	24	0	0	3	・質問や問題点に関して取り組んでもらえる	
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	20	3	1	3	・子供がなかなか話さないが、嫌なことなどされてないか、していないか見てほしい ・連絡帳はあるものの質問と違う返答があったり、他の方に周知されていない場合がある	保護者との関わり方について、研修を実施していきます。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	25	0	0	2		
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	24	1	0	2	・以前Instagramを見た際欄などに名前が丸見えの時があった	個人情報の扱いについて、再度周知を図る
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	20	2	0	5	・マニュアルは説明されていない ・緊急・防犯に対してどの程度のを想定されているかわからない	
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	17	1	0	9		
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	22	2	1	2	・年長児の1年は特に課外活動もたくさんあって楽しそうだった ・行きたくないという事もあるが行ったら楽しかったと言う ・保育園よりしんがくがが好き ・集団活動の取り組み内容が以前より充実していて本人も楽しそうにしている ・2週間に1度の利用のため行渋りはあるが「楽しかった。次の行く」と言っている ・私が仕事を始めたせいか（違うかもしれない）幼稚園に行くのも嫌がるときがある	
	23	事業所の支援に満足しているか	25	1	0	1	・成長が目に見えてわかる。いつもありがとうございます ・保護者の私はとても満足している。子供のための支援に尽くしてもらいとても感謝している	

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせる実施されることが想定されている。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。